



## イラク復興支援群活動報告

1 8 . 7 . 8

イラク復興支援群

### 報告項目

- 1 全 般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

○ 7月8日(7月8日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
  - ◆ 医療
    - 外務省等との調整
  - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
    - ・ 学校の改修：
      - 2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業
    - ・ 道路の改修：
      - 4カ所(サマーワ×4)での役務作業
    - ・ PHCの改修：
      - 2カ所(サマーワ×2)での役務作業
    - ・ 給水関連施設の改修：
      - 3カ所(サマーワ×2、ワルカ)での役務作業

○ 7月8日(7月8日)

- 撤収業務関連
  - ・ 後送コンテナ発送(36本)
  - ・ コンテナ詰め(実施10本/計画4本)
  - ・ 後送コンテナ積載(20本)
  - ・ 不用決定物品の破壊処分
- 宿営地関連施設の整備
  - ・ 宿営地散水
  - ・ ゴミ回収
  - ・ 尿尿汲み取り
  - ・ 冷蔵・冷蔵コンテナメンテナンス
  - ・ Tレックス
  - ・ コンボイ作業
  - ・ 環境維持作業
- 7月8日現在の雇用人員  
計481名(累計:486,074名)※ 細部別表「雇用者」参照
- その他(特記事項)
  - ・ 群長及び業支隊長が、ザイヤード族総帥族長([REDACTED]) 邸を訪問  
別紙「群長及び業支隊長、ザイヤード族総帥族長邸訪問」
  - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ19両に対し約272t(約60,444人分)が配水された。  
7月8日まで計約83,396t(約18,532,444人分)配水(4.59t/人・日換算)

⑦ 後送業務 (7月8日)

- ◎ クウェート (後送業務隊、クウェート分遣班)
  - 後送業務隊
    - ・ 倉庫におけるコンテナの開梱
    - ・ 倉庫におけるコンテナ詰め
    - ・ PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車
    - ・ 後送車両受入
    - ・ ナビスタ通過支援
    - ・ 別紙「後送業務隊活動状況」
  - クウェート分遣班
    - ・ CFLCC調整
    - ・ 10次群装備品検査
    - ・ 装備品回収準備
    - ・ 天幕準備
    - ・ 群後方指揮所開設支援
    - ・ 操縦訓練支援
- ◎ バクダッドLO
  - ・ 連絡調整及び情報収集
- ◎ バスラLO
  - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
  - ・ 定例会議出席
  - ・ 航空輸送調整
- ◎ スミッティLO
  - ・ 情報要求対応等
  - ・ 各種業務調整等
  - ・ 各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
  - ・ 連絡調整及び情報収集

⑧ 後送業務 (7月8日)

区 分	計 画		実 績 (d)	進捗度		残数	備考	
	総 数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)			
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)		60,122	57,661	57,723 [527]	96%	100%	2,399	
後送	コンテナ	337	215	215 [0]	64%	100%	118	
	車 両	203	107	107 [5]	53%	100%	96	

【 】内は、7月8日分の実績を示す。

区分	計画		実績				進捗度		備考
	総数 (a)	当該日迄の完了数 (b)	サマーワからの受領数		準備完了数 (c)	残数	総数比 (c/a) (%)	計画比 (c/b) (%)	
			当日分	累積					
点数	451,553	185	0	90,607	185	90,607	0.04	100	
車両	287	55	0	104	55	104	19.2	100	

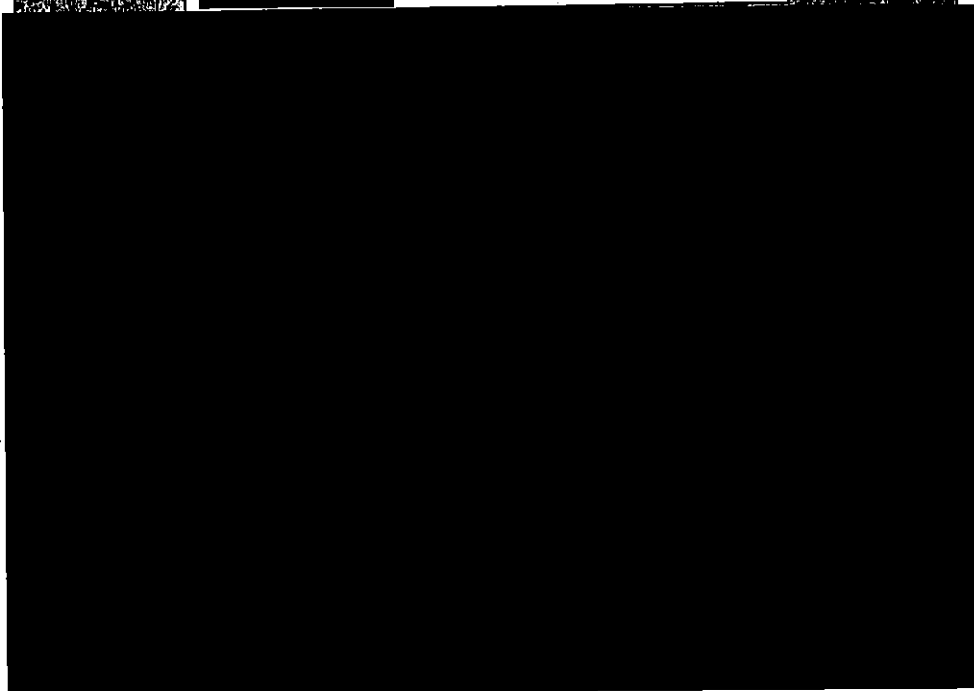
区分	業務内容
コンテナ作成	<p><b>10個コンテナ作成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●車両物品 : 2→7個(部品等)</li> <li>●需品物品 : 2→2個(コピー機等)</li> <li>●通電物品 : 0→1個(空中線等)</li> </ul>
処分	<p><b>不用決定(予定)品の処分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通電物品 : 国際通信等</li> <li>●物品需品 : 入浴セット等</li> <li>●衛生物品 : 処置台等</li> </ul> <p>重機による破壊を実施</p>
輸送	<p><b>物品後送</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●車両×5両の後送</li> <li>●コンテナ×20個の積載</li> </ul>

項目	進捗状況		評価	備考
復興支援活動の整理	35%		現在進行中	17件中6件終了
宿営地の整理	陸軍に対する細部移譲手続きを実施中		順調	本日協定書提示、浄水装置取扱説明を実施
物品の不要決定処置	83%	823/986	順調	破壊等により処置中
コンテナ詰め	96%	57,723/60,122	順調	
コンテナ輸送	64%	215/337	順調	
人員輸送	5.5%	32/579	順調	先行班:32名KWへ

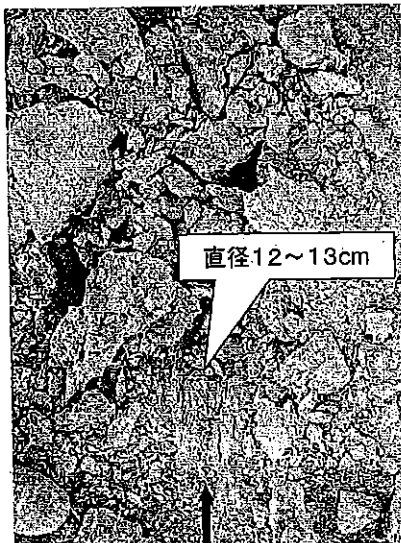
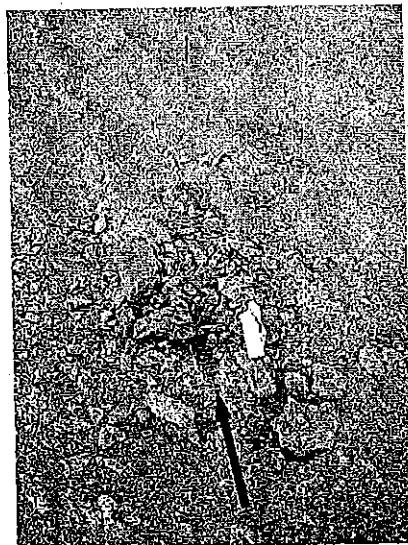
別表

区分	人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	111	300
	学校修復	61	
	道路補修	18	
	給水関連	110	
宿営地内役務	通訳	63	181
	餐備	40	
	給仕	1	
	ゴミ処理	3	
	し尿処理	3	
	清掃	3	
	エンジニア	2	
	タクシー	25	
	床屋	2	
	弁護士	2	
	アドバイザー	1	
	電気工等	3	
	調査員	8	
	耐震性強化施設補修	20	
コンテナメンテナンス	5		





122mmロケットのものと考えられる弾着痕(不発弾)



直径12~13cm

に対する間接射撃攻撃(7.7)-3



- 1 今回の間接射撃の発射地点であるサマーワ市東方(293630)付近は、一般に治安が悪く、部族の統制が及び難い地域といわれており、サドル派民兵過激派等の勢力が犯行を実施する上では、比較的制約の少ない場所であったと思われる。
- 2 使用された火器は、の弾着痕から122mmロケットの模様であり、従来の107mmロケットと異なる攻撃手段がサマーワ周辺に入ってきていることを示している。
- 3 攻撃のタイミングとしては、7月4日に県評議会に元警察官の集団が進入し、県知事及び県治安最高責任者の辞任が取りざたされ、県知事及び県治安当局に対する信頼性の低下を企図する行動が行われた後である。今回の攻撃は、これに引き続くものであり、への攻撃によって治安権限の移譲前に混乱を生起させ、移譲後の有利な態勢をとるために、サドル派民兵過激派等が実施した可能性がある。
- 4 7月7日未明にアスカリ地区西側(241624)付近で確認された爆発も何らかの投射物が方向に飛翔しようとして失敗したとの情報がある。また、7月2日2144及び2155にもに対するロケットと迫撃砲の攻撃が実施された。今回の攻撃を含めて、1週間に3回の頻度であり、に対する攻撃が活発化している可能性がある。また、攻撃はいずれも比較的明るい月夜に実施されており、この点からも攻撃が活発化していると言える。今後は、月夜の次の段階として、昼間を含めた間接射撃攻撃の発生に注意する必要がある。
- 5 治安権限移譲前の攻撃という観点からは、間接射撃と同じく攻撃側の損害を回避しやすい簡易爆弾が有効な手段である。サドル派民兵過激派等の活動の活発化が見積られる中、今後さらに警戒を厳にする必要がある。
- 6 全般としてにかわって日本隊が標的となる可能性はある。

金曜礼拝(7.7)-1



【アル・サマーワ・モスク】

- 説法者:アワディ師(約2000名)
- 説法内容
  - サマラのゴールデンモスク再建のための寄付呼びかけ
  - イラク政府に対する生活環境早期改善要求
- ザルガニ師が礼拝に参加したが、説法は確認できなかった。

【アル・マフディ・モスク】

- 説法者:ザーメリ師(約200名)
- 説法内容
  - ゴールデンモスク修復に関するムクタダ・サドル師の署名・募金要請(修復要員が2~3日後、サマーワ・サドル派事務所から出発する模様)
  - 7月7日午前中、サドルシティーで米軍・イラク軍とマフディー軍が衝突し、マフディー軍のうち10名が死亡し、5名が逮捕された。
  - サドルシティーで生じたテロに対する米軍批判

【アル・グレイブ・モスク】

- 説法者:モサウイ師(約1000名)
- 説法内容
  - ゴールデンモスク再建のための協力呼びかけ
  - ナジャフ県クーファ市での爆弾テロについて
  - ムクタダ・サドル師によるイラク全土のサドル派事務所3日間閉鎖(7月7~9日)について



## 金曜礼拝一2



### 【アル・メディーナ・モスク】

○説法者: アドナン師(約1000名)

○説法内容

- ゴールデンモスク再建のための寄付呼びかけ及び政府への対策要求
- ムサンナ県において近いうちに治安権限が多国籍軍からイラク政府に委譲されることを歓迎する。
- テロリストに関連して米国、クウェート、サウジアラビア及びシリアに対する批判
- サドルシティーでの爆破テロ批判
- 以前、多国籍軍にいつ撤収するのか尋ねたが、未だ回答はなく、破壊が続いており、イラク人が犠牲になっている。

### 【ムルタバ・モスク】

○説法者: アサディー師(約500名)

○説法内容

- ゴールデンモスク修復に関するムクタダ・サドル師の署名・募金要請について
- 7月7日午前中、サドルシティーで生じた米軍・イラク軍とマフディー軍の衝突について
- サドルシティーで生じたテロに対する多国籍軍批判

## 金曜礼拝一3



### 【マムラハ・モスク】

○説法者: フセイン・ハル師(約80名)

○説法内容等

- ゴールデンモスク再建のための寄付呼びかけ及び政府への対策要求
- 多国籍軍、特に米軍、英軍は、早期に撤退せよ。
- イラク政府に対する生活環境早期改善要求

### 【ファータマ・アッザハラ・モスク】

○説法者: アスアッド師(約100名)

○説法内容等

- ファータマ・アッザハラ等、宗教関連
- シーア派とスンニ派との間のトラブルを望まない。
- ハシシュ(大麻)を所持したイラン人が大量にイラク国内に流入しているため、政府は対策をとれ。

### 【アル・メリ・ベニーン・モスク】

○説法者: ムハンマド師(約100名)

○説法内容

- ゴールデンモスクの修復に関するムクタダ・サドル師の署名・募金等の要請について
- 7月7日午前中、サドルシティーで生じた米軍・イラク軍とマフディー軍の衝突について
- サマーワ近郊のインフラ状況について、燃料や電気の事情が改善されていないため、政府は対策をとれ

## 金曜礼拝-4



### 【マル・ハッジャ・ムンタバル・モスク】

○説法者:ムハンマド・アワブ師(約100名)

○説法内容等

- 7月7日午前中、サドルシティーで生じた米軍・イラク軍とマフディー軍の衝突について

### 【アル・ジャシール・モスク】

○説法者:カファジェイ師(約200名)

○説法内容

- アルジャシールモスクへの攻撃は、テロリストと米国が、シーア派とスンニ派間で紛争を起こさせるために仕組んだものである。

- 1 日本隊への直接的な非難や撤収に関する説法はなされなかった。
- 2 サマラのゴールデン・モスク再建が進まないことに対する不満と募金の呼びかけがなされた。これはサドル派がシーア派の宗教的な結末に訴えるとともに、その中心的存在として自らをアピールすることにより、今後の有利な態勢を占めようと企図している可能性がある。
- 3 燃料や電気事情に対する不満は、依然として述べられている。生活状況の改善を訴えるデモが発生する可能性は、引き続きある。

## イラク全土の全般情勢評価(7. 8)



(6月30日以降変更なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	1 バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 2 政治的な対立、宗派間対立に起因するテロ、衝突等が継続 5月のマーリキー内閣成立以降も治安安定化の方向に進んでいるとは言い切れない。	6/23修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化または衰退の兆候はなし) 2 アンサル・スンナとザルカウィ勢力の共闘が変化する可能性 3 ザルカウィ関連勢力の活動が変化する可能性 4 「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 5 暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	6/23修正 6/8修正 6/8修正
サドル派	1 政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル派民兵の再構築を企図	6/8修正
特記事項	1 市場等多数の人が集まる場を狙ったテロ	6/23修正

イラク南東部の全般情勢評価(7.8)



(6月23日以降変更なし)

区分	内容	備考
全般	1 バスラを除き比較的安定しているが、多国籍軍、イラク治安部隊等への攻撃が発生 2 ムサンナ県を含む南東部各県において簡易爆弾による攻撃が発生 3 バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 ・ シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・ 多国籍師団(南東部)、イラク治安部隊が実施する治安維持作戦への反発から簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性	6/23修正 6/23修正 6/23修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 宗派間対立に起因するシーア派への攻撃を継続	6/23修正
サドル派	1 サドル派中央の意向に従わない過激派が存在 2 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性	6/23修正 1/14追加
MSR/ASR	1 簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正
タリル 空軍基地	1 移動経路上の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃、基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃が実施される可能性 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正

ムサンナ県の全般情勢評価(7.8)-1



(7月7日以降変更なし)

区分	内容	備考
全般	1 比較的安定、しかしながら油断は出来ず 2 県の治安権限移譲に向けたマーリキー首相の発表、日本隊及び英豪軍の撤収の表明等を受けて、多国籍軍撤収後に向けた各勢力の動きが逐次活性化 3 イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 4 簡易爆弾を用いた攻撃が比較的軽易に行われる可能性 この際、爆発成形弾等の高度な技術を要する簡易爆弾に加えて、比較的短時間に設置できる簡易爆弾や旧式の簡易爆弾が使用される可能性 5 地方選挙を控える中、評議会メンバー等に対する攻撃(サドル派民兵による可能性がある)が継続し、これにイラクイスラム革命最高評議会(SCIRI)の要員が巻き込まれる場合、バドル組織とサドル派民兵との緊張が高まる可能性	7/7修正 6/8修正 6/27修正 7/1追加
スンニ過激派 国際テロリスト	1 スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	1 日本隊または英豪軍撤収に対する不満や不安を持った部族関係者が存在する可能性	6/23修正
デモ関連	1 燃料、電力、雇用状況の根本的な改善を図ることは困難であり、また、治安権限移譲後の各派の主導権争いも絡んで、引き続きデモや暴動が発生する可能性は継続	7/7修正

## ムサンナ県の全般情勢評価(7.8)-2

注意

(7月1日以降変更なし)

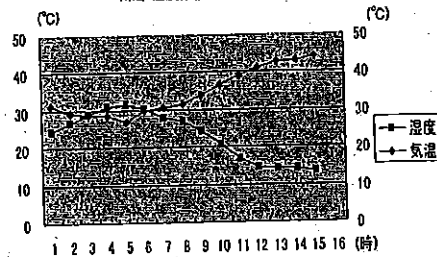
区 分	内 容	備 考
サドル派	1 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 サドル派民兵は英軍撤収後の勢力伸長に備えて、治安権限移譲までの間、勢力の温存を図る可能性 (前半部分を全般の項に移項)	7/1修正
	2 5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊との抗争に関連して、ナジャフのサドル派事務所中央は、サマーワサドル派事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性	6/4修正
	3 サドル派民兵過激派等により、宿営地外活動を実施中の部隊に対する臨機の簡易爆弾、RPG、小火器による襲撃及び宿営地に対する間接射撃等が実施される可能性 この際、県知事公舎周辺等のサマーワ市中心部及びCooperative Zone(イエローゾーン)内とその周辺部は注意を要する。	6/23修正

## 現地の気象情報

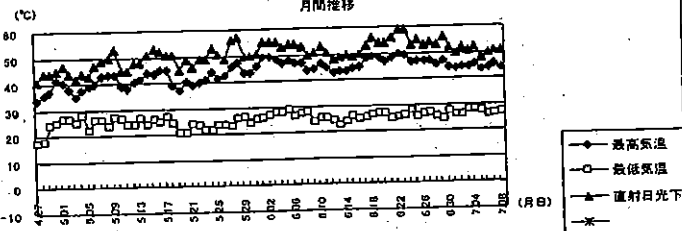
### 報告内容

明日の日の出 : 0601(サマータイム)  
 明日の日の入 : 2007  
 明日の月齢 : 13.6  
 明日の月出沒 : (出9日1855~及10日0345)  
 本日の天候 : 晴れ  
 本日の気温 : 最高44.1℃ 最低26.9℃  
                   : 最高51℃(直射日光下)  
 本日の平均湿度 : 23.0%

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



10月10日(日)の活動予定(7月9日)

区分	業務内容
コンテナ作成	<p><b>10個コンテナ作成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●車両物品 : 2→7個(部品等)</li> <li>●需品物品 : 2→2個(コピー機等)</li> <li>●通電物品 : 0→1個(空中線等)</li> </ul>
処分	<p><b>不用決定(予定)品の処分</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通電物品 : 国際通信等</li> <li>●物品需品 : 入浴セット等</li> <li>●衛生物品 : 処置台等</li> </ul> <p>重機による破壊を実施</p>
輸送	<p><b>物品後送</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンテナ×20個の後送</li> <li>●コンテナ×16個の積載及び後送(着地:タリル)</li> </ul>

10年7月9日(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等・[場所]	車両
J1	群長の行動	0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0900 0915	11日J任務経路等について(仰指)	
		0915 1035	宿営地内勤務	
		1035 1100	サマーワ総合病院長及び特殊疾患クリニック長に対するODA供与機材技術指導行事参加	
		1100 1300	宿営地内勤務	
		1300 1400	指揮幕会議(応接コンテナ)	
		1400 1430	群本部幕僚会同(応接コンテナ)	
		1430 1445	活動命令(案)(仰決)	
		1445 1605	宿営地内勤務	
		1605 1635	作戦会議	

6年12月8日(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等・(場所)	車両
J2	業務支援隊長の行動	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0900 1000	会同	
		1000 1530	宿営地内勤務	
		1540 1600	CIMICミーティング	
		1605 1635	作戦会議	
		1635 1655	隊ミーティング	
		1930 2000	外務省との定例ミーティング	
J20	GRF	+		

6年12月9日(日)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等・(場所)	車両
S6☆	役務管備員配置	9日 1130~ 1930~ 10日 0530~	宿営地~運河管成位置~宿営地	
S11☆	管 街		管 街	
S12☆	浄水活動(運河)	0730~1000	大量送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1

1998年7月9日(日)の目録

コール	行動名	時程	活動内容等・(場所)	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0830~1600	宿営地散水	
S13b		0830~1600	ゴミ回収	
S13c		0830~1600	尿尿汲み取り	
S13d		0900~1600	Tレックス	
S13e		0830~1600	環境維持作業	特大型(E)×1
S13f		0900~1200	有線・電話機撤収(0ゲート~警衛所)	LAV(HS)×1
S15	群主力の行動	0800 0810	群朝礼	
		0810 1600	宿営地内活動	
		(0510~1600)	群統制(コンテナ作成)	
S16	空中監視活動	9日0830 ~ 10日0830	空中監視活動	

1998年7月9日(日)の目録

後送業務隊	クウェート分遣班	バックアップLO	バスラLO	スミッタLO	サート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> <li>倉庫におけるコンテナの開閉</li> <li>倉庫におけるコンテナ詰め</li> <li>PWC洗浄施設における後送車両の高検及び洗車</li> <li>後送コンテナ受入</li> <li>ナビスタ通過支援</li> <li>車両点検(後送精送トレーラ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受入準備</li> <li>10次群装備品検査</li> <li>装備品回収準備</li> <li>天幕準備</li> <li>保潔搬入支援</li> <li>ナビスタ国境通過支援</li> <li>現金組替、物件費支払い支援</li> <li>クールダウン申し込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>定例情報収集</li> <li>定例会議出席</li> <li>航空輸送調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>各種業務調整</li> <li>各種ミーティング等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> </ul>



- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項  
- 昨日、キャンプスミッティーにIDFによる攻撃があった。サマーワ宿営地に対するIDF攻撃の可能性もあり、また、月明かりの中で実行しているので、エスカレートすると屋間の攻撃も否定できない。各隊長等は、[Redacted]においては、外に出ないよう各隊員に徹底せよ。



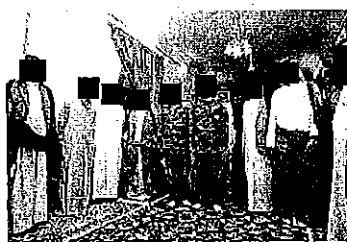
- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項  
- 本日、総部族長の招待を受け総部族長宅を訪問した。部族長のみでなく、たくさんの人に来て頂いて、心から我々の活動に対し感謝の言葉を頂いた。これも1次群から部族長との良好な関係を維持してきた結果である。総部族長からは、我々の撤収に関し、防護及び安全確保に力を尽くすという心強い言葉を頂いたので紹介する。  
- 実質的な宿営地外での活動は終了した。これからはタリルまでの移動に幕僚活動及び隊員の意識を集中せよ。  
- これからの1週間で最も厳しい。油断する事なく、基本的事項を着実に実行せよ。

別紙

### 群長及び業支隊長、ザイヤード族総部族長邸訪問



ザイヤード族総部族長( [Redacted] )と握手する群長



一族との記念撮影の様子

### 後送業務隊活動状況



[Redacted]倉庫におけるコンテナ詰め



[Redacted]倉庫におけるコンテナの搬送



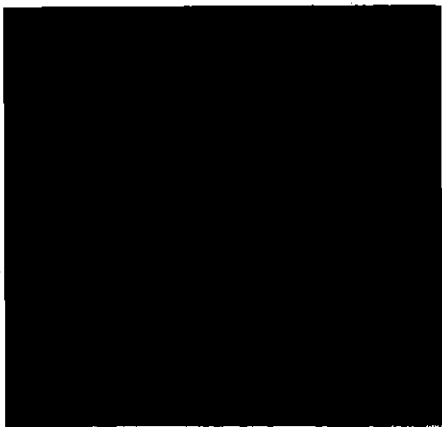
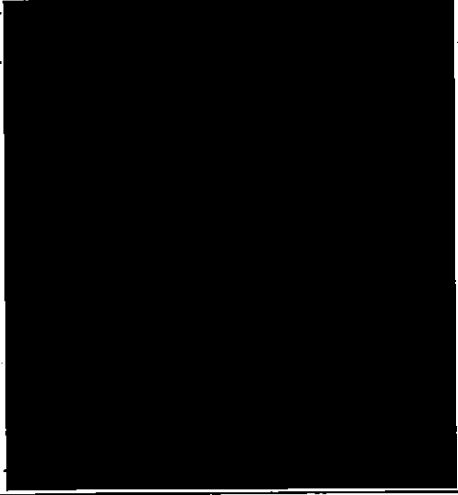


バグダッドLO日々業務報告(7月8日1830)



区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは、バグダッド及びモスルは、ラマディは
2 特記事項	
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	本日1450、空自LO(以下5名)バグダッド到着。異状なし。

7月8日付JAM情報最新版



評価:



JAM Update: 08 July

Assessment:








バグダッド日誌(7月8日)


○早朝の電話

ここ4日ほど連続して朝3時頃に電話がかかってきた。しかも呼び出し音の鳴っている回数が5~6回ぐらいしかなく、受話器を取ろうとした瞬間に電話が切れ、誰が掛けてきたのか分からない。派遣間・無休・24時間対応を自負しているバグダッド連絡班にとって、電話にでられないことは痛恨の極みである。

ところで東京から掛かってくる電話は、緊急を要するものでないかぎり、我々が起床する朝6時以降(日本の朝11時以降)にしか掛けないように気を遣ってくれている。従って朝3時頃の電話は、緊急事態がサマーワで発生したものと感じ緊張して構えてしまう。と私は、全ての通信機のある日本隊コンテナで寝起きているため、電話が鳴るたびに寝床からゼンマイ仕掛けの人形のように飛び起きて、競争するように受話器に向かう。電話をとろうとした瞬間に切れてしまい、受話器を恨めしそうに眺めてから、二人で顔を見合わせている。その後は緊急の電話が掛かってくるのではと興奮して眠れず、神経をとがらせている。

この朝3時の電話の掛け主は、せめて10回呼び出し音を鳴らすまで、待って欲しいと願っている。

 <span style="float: right;">●</span>	
<b>パスラLO日々業務報告(7月8日1900)</b>	
区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港   (警戒態勢) : 
2 特記事項	(1)  (2) 
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 :  (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 航空輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送調整等
5 その他(備考)	

	MND-SE管内の状況 

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし Threat Level
2 特記事項	昨日発生したキャンプスミッティに対するIDF攻撃に関して重点的に情報収集を実施
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 キャンプスミッティに対するIDF攻撃事案関連情報、サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 JIRSG撤収関連、明日以降の豪軍支援要請関連、整備関連等 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし

クウェート分遣班業務報告		18. 7. 8
全 般		
<input type="checkbox"/> 国内情勢等： <input type="checkbox"/> 人員・武器等：異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告：所属人員23名、事故人員0名、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候：晴れ <input type="checkbox"/> 気温：0700 40℃(47℃) 1100 45℃(52℃) ( )は直射日光	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> 10次群装備品検数 <input type="checkbox"/> 装備品回収準備 <input type="checkbox"/> 天幕準備	<input type="checkbox"/> 群後方指揮所開放支援 <input type="checkbox"/> 操縦訓練支援	
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 受入準備 <input type="checkbox"/> 10次群装備品検数 <input type="checkbox"/> 装備品回収準備 <input type="checkbox"/> 天幕準備	<input type="checkbox"/> 弾薬搬入支援 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> 現金組替、物件費支払い支援 <input type="checkbox"/> クールダウン申し送り	
その他		
なし		

クウェートLO日々業務報告(7月8日1900)

区分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル [ ] 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報):クウェート会士「十分注意」(N/C)	
特記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	1 連絡調整等 (1) 広報サレム立入に関する調整 (2) 意見交換会日程調整  2 情報収集 特記事項無し	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等  2 情報収集	
その他	なし	